

平成23年度全国高等学校総合体育大会
ウェイトリフティング競技ポスター
図案採用作品最優秀賞



県立水沢工業高校1年
辻山友望さん

奥州市の知名度やイメージの向上と国内外から広く認知される都市ブランドを確立し、交流や定住人口の拡大を図り、魅力あるまちづくりを目指していこうとするものであり、推進プランにおける戦略の再構築などの検討を行ってまいります。奥州大使は、東京都その他府県において、現在38名の方々に委嘱しております。ふるさと納税については、平成22年度は、現在12名の方から総額で、165万5百円の寄附をいただいております。



○「独居老人対策」について
○「ご当地ナンバー」について



さがわら さとし 哲 菅原

質問 在宅ひとり暮らし老人の把握状況と今後の対策をどう考えるか伺います。

市長 市内には平成22年で、3,409人と確実に増加しています。連絡先等の把握については区によって違いがあるが、市社会福祉協議会による緊急連絡カードにより民生委員と情報共有しています。市社会福祉協議会では平成23年度に全市統一の緊急連絡カードを作成し、高齢者、障がい者世帯等に配置する予定と聞いており、市として

も側面からサポートして参ります。
質問 市は、社会福祉協議会にまかせきりみたいであり、主導すべきと思いますが伺います。

市長 そのように努力したいと思っています。

質問 ご当地ナンバー「平泉ナンバー」について、当市の基本的考えと推進方法について、また、もう一つのご当地ナンバー（市発行の二輪車等のナンバー）について、全国では独自デザインの発行が多く見られる。市を売り込む対策としても有効な手段と思えるが、どう考えるか伺います。

市長 平泉ナンバーについては、官民組織の「実現させる会」に当市も構成メンバーとして大いに運動し、さらに一関市、平泉町と連



「平泉ナンバー」実現に向け決起大会(1/28一関市内)

携し事務局の一員としてバックアップしていきます。

もう一つのご当地ナンバーについては、非常にいい考えで奥州市の一体感醸成のきっかけづくりにもなると捉えており、導入した他市町村の状況や費用など様々な観点から検証し、前向きに検討してまいります。

○江刺梁川地内インターチェンジ開通に向けた取り組みと『奥州梁川インター』名称の実現性について



なかにし ひでとし 秀俊 中西

質問 東北横断自動車道の東和から梁川そして宮守間の工事の進捗状況は54%です。開通予定は平成24年を目指しています。現在は江刺田瀬ICが仮称です。名称について、当該地域を全面に出すべきではないでしょうか。ICの名称について伺います。

市長 国は地元の自治体へ意見照会した上で最終決定する予定です。市として地元の皆さんの意見を聴きながら、地域に相応しい分かりやすい名称となるよう検討します。また、「奥州梁川インター」など地元住民の方々が、愛着を持ってイ